令和元年度様似町一般会計及び特別会計歳入歳出決算 認定

9月16日から18日までの3日に渡って開かれた、令和元年度の決算審査特別委員会（佐々木委員長）にて、慎重審議の結果、一般会計及び各特別会計、水道事業会計が原案の通り認定されました。

各会計決算総括表

		歳入	歳出
一般会計		44億4,944万9千円	43億9,885万4千円
特別会計	介護保険会計	4億8,441万7千円	4億5,174万6千円
	国民健康保険事業会計	7億4,738万円	6億5,542万4千円
	後期高齢者医療会計	7,406万円	7,406万円
	下水道事業会計	2億4,391万円	2億4,312万5千円
合計		59億9,921万6千円	58億2,320万9千円
水道事業会計　収益的収支		1億5,713万4千円	1億5,167万円

令和元年度に実施した主な事業

●総務費

行政システム機器運用
3，７７５万９千円

●民生費

老人福祉対策
9，６４９万９千円
生活館管理運営・修繕等
1，４２０万５千円
児童手当
4，６４４万２千円

●衛生費

医療機関・団体助成
3，０３８万７千円
医療費自己負担分補助等
1億1，１２９万２千円
ゴミ処理事業等
1億8，８６２万２千円

●農林水産業費

イチゴハウス施設等整備工事
6，９０８万円
有害鳥獣駆除補助金
1，０３８万円
町有林造林事業
3，５０７万８千円
冬島地先小規模治山工事
2，８０１万３千円
浜平宇幹線開設工事
4，８６４万３千円

●商工費

アポイ山荘管理運営委託料
2，１１８万円
アポイ山荘管理運営補助金
3，７００万円
ジオパーク推進事業
1，１０９万６千円
アポイ岳保全対策
1，３６８万８千円

●土木費

道路維持・補修費
8，７７７万７千円
公営住宅維持管理
2，１７８万４千円
平宇団地建替工事
9，６８０万円

●消防費

日高東部消防組合負担金
1億6，６４４万９千円
防災費
1，３５１万４千円

●教育費

英語指導助手招致事業
1，２９９万５千円
幼児センター運営
6，５６８万４千円
社会教育・文化振興
2，７９５万３千円

ＪＲ日高線の廃止と、来年度からのバス転換に向けて

令和2年10月23日、日高町で行われた締結式を終え、正式にJR日高線は廃止が決定しました。今後は令和3年4月1日からのバス転換に向けて、より細かな協議が行われることとなります。そこで今回、廃止までの経緯と、バス転換に向けての課題について触れていきたいと思います。

これまでの主な経緯

《平成27年》

◆1月8日、厚賀―大狩部間が悪天候による高波で盛土流出（復旧費30億円）

◆9月12日、豊郷―清畠間台風17号による高波で被災（復旧費8億円）

※当時の復旧費の総額38億円。16億4千万円のうち、ＪＲ北海道は3億円、地元の自治体には13億4千万円の維持費負担を求めたいとの報告があった。

《平成28年》

◆8月8日、路線維持のあり方議論

ＪＲ北海道より、日高線の赤字、老朽化対策で毎年16億4千万円が必要との報告があった。

◆8月下旬、豊郷―清畠間台風9号、10号、11号による高波で再度被災（復旧費48億円をプラス）

※復旧費総額86億円となり、老朽化対策費53億円も追加すると、総額139億円の経費が必要となった。

◆9月8日、路線維持のあり方議論

ＪＲ北海道より、毎年かかる

《平成29年》

◆2月18日、『ＪＲ日高線（鵡川―様似間）の復旧の断念、並びにバス等への転換に向けた協議開始のお願い』がＪＲ北海道（北海道旅客鉄道株式会社）より通知される。

◆3月25日、ＪＲ日高線沿線自治体協議会

ＪＲ日高線の復旧を断念することなく、復旧に向けての取り組みを行っていくことを確認した。

◆4月12日、『ＪＲ日高線（鵡川―様似間）沿線地域の公共交通に関する調査・検討協議会』を立上げる

（構成員、日高管内各町長・北海道運輸局鉄道部長・北海道総合政策部交通政策局長・日高振興局長・日高町村会長）

◆8月3日、町民移動実態調査を実施

様似駅前停留所において高速えりも号、浦河方面・えりも方面行き路線バス及び列車代行バス搭乗者へアンケートを実施。

《平成30年》

◆10月9日、臨時町長会議

各町とＪＲ北海道との個別意見交換について協議した。様似町では10月15日、町長・副町長・教育長・町議会議長・同副議長・総務産業常任委員会及び、社会文教常任委員会両委員長とＪＲ北海道とで協議を行った。

《令和元年》

◆8月30日、様似町議会全員協議会

「日高地域における広域交通案」など臨時町長会議での内容について報告された。様似町としての方向性について議会と協議・意見交換を行った。

◆11月12日、臨時町長会議

日高町村会では全線バス転換とする方向性となった。

《令和2年》

◆6月24日、様似町議会全員協議会

「日高線（鵡川―様似間）バス転換整理案」などについての報告・協議を行った。

◆8月28日、様似町議会全員協議会

坂下町長より、臨時町長会議にて「日高線（鵡川―様似間）バス転換調整案」を概ね了承し、令和3年4月1日からのバス転換に向けて協議中との報告があった。

また、10月9日の町議会臨時会後に坂下町長より、直近に行われた臨時町長会議で廃止について大筋の合意をし、10月23日にバス転換の締結式が行われる予定との報告を受けました。

※10月の町議会臨時会の審議につきましては、次号第7号にて掲載予定です。

今後の課題

◎運行ダイヤについて

バス転換の運行ダイヤについては、ＪＲ北海道バス・道南バス等が実際に運行することとなるため、各会社の事情を考慮して決定する形となる。現在、詳細な内容については決定していない。

◎バスターミナルの建設について

バス転換後の18年間、運行等に係わる経費20億円をＪＲ北海道が負担する。その中にバスターミナル施設（約5千万円）を4か所建設する内容も含まれているが、詳細な内容については現在検討中とのこと。

◎地域振興に係わる財政支援5億円の管内7町の配分内容について

バス転換の運行経費と併せ、ＪＲ北海道からは日高管内7町に5億円の支援金が交付となる予定だが、各町の配分内容については、まだ確定していない。